

令和7年度前期学校アンケートのお知らせ

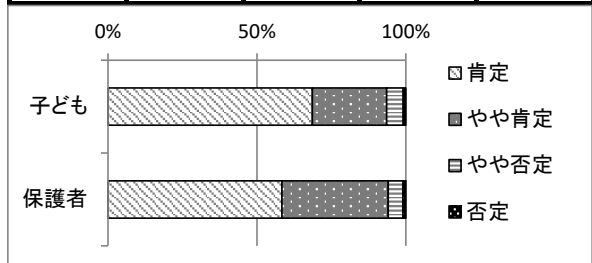
令和7年10月24日
伊豆市立修善寺南小学校
校長 室野 行宣

日頃より、本校の学校教育推進へのご理解ご協力ありがとうございます。
1学期末に、1学期の学校教育活動に関する「保護者アンケート」をフォームでお答えいただきました。お忙しい中にも関わらず216名（約85%）の回答をいただきました。本当にありがとうございました。以下に結果と学校での分析を載せております。保護者の皆様のご意見を今後の教育活動に活かしたいと思ひます。引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

令和7年度1学期学校評価の表（子ども・保護者）

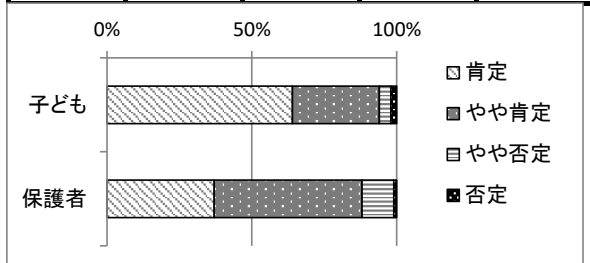
①学校生活を楽しんでいる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	69	25	6	1
保護者	59	36	5	1



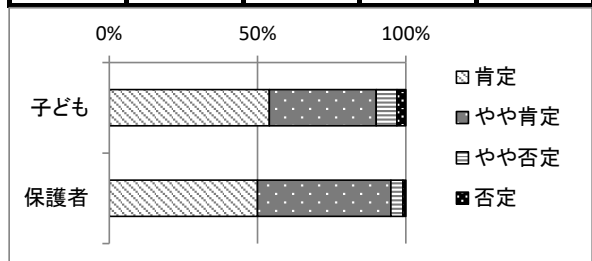
②めあてをもって活動に取り組んでいる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	64	30	4	2
保護者	37	51	11	1



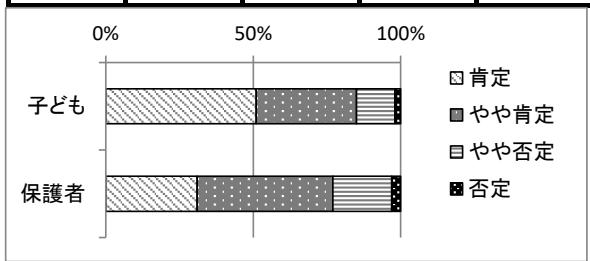
③授業に真剣に取り組んでいる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	54	36	7	3
保護者	50	45	4	1



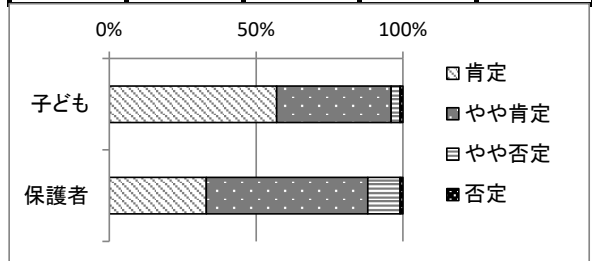
④授業で自分の考えを伝えることができる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	51	34	13	2
保護者	31	46	20	3



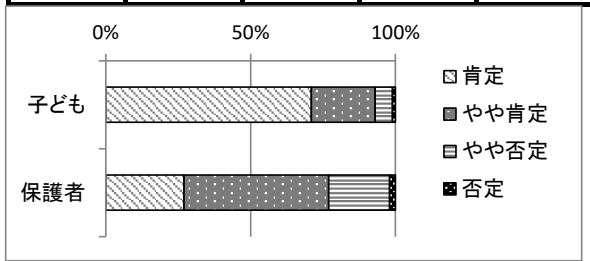
⑤授業で話を理解しながら聞くことができる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	57	39	3	1
保護者	33	55	11	1



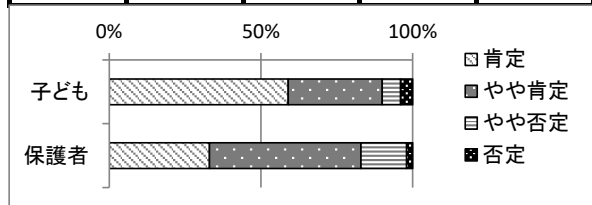
⑥授業で自分の考えを書くことができる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	71	22	6	1
保護者	27	50	21	2



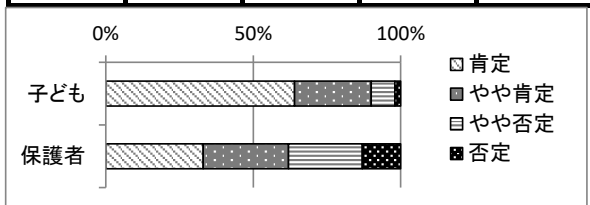
⑦あいさつをすすんでできる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	59	31	6	4
保護者	33	50	15	2



⑧読書をすすんで取り組んでいる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	64	26	8	2
保護者	33	29	25	13



①②については、「肯定」「やや肯定」を合わせた割合が、子ども・保護者ともに肯定的な意見が90%近くを占めています。子どもたちは南小の学校生活を充実したものと感じています。これは、保護者の皆様が学校教育活動に対してご理解・ご協力をしてくださっているからこそそのあらわれと考えます。

③～⑥については、学習に関わる質問です。四つの質問は概ね肯定的な意見が80%を占めています。子どもたちの回答からは日々の授業に対して真剣に取り組んでいることが見えてきました。しかし、保護者の回答では、「考えを伝える・聞く・書く」の「肯定」が、子どもに比べてやや低い割合となっています。授業内で「自分の考えをもち、友達の意見を聞きたい。自分の意見を伝えたい。」と思えるような授業の展開に、教職員一同、努めていきます。

⑦⑧については、南っ子委員会のイベント、地域の方のあいさつ運動などのご協力により、あいさつの大切さに気づいている子が増えてきています。また、読書については、図書委員会の活動や司書の呼びかけにより貸し出し冊数が増えています。ご家庭でも読み聞かせなどの活動を取り入れていただけたら、本をもっと好きになると思いますので、ご協力をお願いします。

今後も学校教育目標「共に輝く たくましい 南っ子」を意識して、教育活動に取り組んでいきます。子どもたちの心配事が少しでもなくなるように学校と御家庭が連携して取り組んでいくことが必要です。いつでもどんな小さなことでも気になることがありましたら相談してください。

【保護者の方からのご意見】

【ふれっぶの水泳授業について】

・プールの授業が、「ふれっぶ」へ委託されて、大変良いと思いました。先生方の引率や準備など大変かと思いますが、天候に左右されずに実施でき、専門の方もいて、子供も泳ぐ事に自信がついたと思います。子どもたちも楽しく学べていることに安心しています。

⇒今年度から、「ふれっぶ」の委託事業が始まりました。天候に左右されないこと、専門的なスタッフによる指導は大きな教育効果として表れています。何よりも子どもたちが学びを楽しむ姿が見られました。来年度も「ふれっぶ」での授業となりますので、今年度の効果が継続できるよう運用を進めます。

【学習意欲の向上について】

・子どもが宿題（漢字・日記）などに丁寧に取り組めた時、スタンプ1つで終わらせるのではなく、特にできているところをチェックしていただくと、より学習意欲が高まると思います。

・日々の何気ない先生からのコメント(反応)に子供は喜びますし、親としても嬉しくなります。しかし最近、未確認なのかな？ということもあり…お忙しいとは思いますが、子供たちのやる気につながるようなご対応をして頂けたら幸いです。

・いつもお世話になっております。授業内での子供たちの意欲や、授業に集中できない場面があるようで気になっています。先生方の存在は大きなものなので、個々の良さを伸ばすために、寄り添ってもらえたらと思います。

⇒教職員は、子どもが取り組んだ前向きな姿勢や頑張りに対して、そのあらわれをしっかりと認めなければならないと考えています。そのため、とても貴重なご意見をいただいたと感じています。今後は、教職員全体で教科指導や子どもたちとの関わりに対する意識を高めて、取り組んでいきます。

【お便りの配信について】

・次週の予定が載っているお便りを「すぐーる」で送ってもらえると、出先でも帰宅時間の確認が出来るとともに、子どもと一緒に確認ができるので検討してほしいです。

⇒「すぐーる」のお便り配信については、今後の検討事項としたいと思います。

【安全な登下校について】

・登下校で使う電車内でのマナーや、危険な行為に対して注意をしたときに、反抗的な態度を取られるということがありました。また、信号機のない横断歩道でのマナーが悪い南小の生徒を見ることが多くあります。自転車の前輪が横断歩道に出ているのに「渡らない」という事があり、渋滞がおきていることがありました。

・他地区ですが、横断歩道で止まった車に対して丁寧に挨拶をする子ども達がいまいました。南小学区の道路で見かけるのは一部の高学年だけという印象です。自分の子どもだけではなく南小の子ども達に安全に登下校して欲しい、そんな思いで日々見守りをしています。ぜひ地域の方々が誇れる南っ子になれるご指導をお願いいたします。

⇒登下校時に、安全のために声をかけていただきありがとうございます。学校では、全校児童に向けて地区別集会時に、安全な登下校について子どもたちと確認しております。2学期以降も引き続き、指導を行っていきます。今後も、地域の方が危ない場面等を見かけたときには、その場で注意をしていただけると助かります。子どもたちの安全のために、地域と学校で協力しあっていきたいと考えます。